

## 編集後記

航空電子技報も 30 号となりました。編集中、創刊初期の技報の中に「われわれは日本にいるというよりも世界にいるという気持ちで、人類社会に貢献するものを開発するという心構えが必要である。」という創業者の言葉を見つけました。世界がインターネットでつながり、製品が製造から販売までグローバルに展開する現在、技術者にとって否応無く、そのような心構えが必要な状況になっています。

2006 年は、液晶・プラズマ TV、ワンセグ携帯、カーナビなどによりエレクトロニクス業界は概ね好調となり部品メーカーにも明るい兆しとなりました。一方、製品開発の現場では新技術の実用化とコストダウンで内外の厳しい競争にさらされています。このような中、メーカーの技術者として日々現場で起きる問題に追われる自分たちがすべきことは、当たり前なのですが、お客様の潜在要求を捉えて、それをタイムリーに実現する「もの作り」にこだわること、さらに、お客様が驚き、自分たちも共に喜べるような技術を育てることだと思います。

本技報にも当たり前の便利さを支える緻密な設計・生産技術、夢につながる超微細、超高密度、超高精度の技術の種が数多く紹介されています。これらの種を技術者が誇りを持って育ててゆくこと、それが 30 年前の技報に見た「人類社会に貢献する」につながっていくことだと信じます。

本技報の記事が読者の皆様の事業における発展の一助となれば幸いです。

### 編集メンバー

倉本 健次	野々村香一
桜井幾久雄	萩原 健治
竹田 直身	原田 正
戸城 真司	宮崎 勝
鳥飼 俊敬	森谷万寿夫 (五十音順)

### 航空電子技報 NO.30 (非売品)

無断転載を禁じます。

2007 年 3 月 31 日発行

発行人 潟岡 泉 (取締役中央研究所長)

発行所 日本航空電子工業株式会社

TEL 03-3780-2711

制 作 株式会社 東京クリエイティブ